

日本天文學會昭和28年春季年會

プ ロ グ ラ ム

日 時 昭和28年4月30日(木), 5月1日(金), 2日(土)

場 所 港區飯倉3丁目 東京大學天文學教室

第1日 4月30日(木) 午前9時より

【午前の部】

- | | |
|--|----|
| 1. 虎尾正久・小林宏志(東京天文臺): リーフラーの振動の不整について | 5 |
| 2. 飯島重孝・岡崎清市・加藤龜三郎(): 報時精度の現状について | 7 |
| 3. 飯島重孝・岡崎清市(): 國內水晶時計の運行について | 7 |
| 4. 飯島重孝・加藤義名(): デシマルカウンターの精度及びこれによる
時計秒信號のばらつき測定について | 7 |
| 5. 虎尾正久・宮地政司(): P Z T 星の視位について | 10 |
| 6. 宮地政司(): 報時電波の傳播時間測定法 | 10 |
| 7. 安田春雄・原 壽男(): 天頂星の赤經觀測 | 5 |
| 8. 切田正實(緯度觀測所): 子午儀軸の不整について | 7 |
| 9. 安田春雄(東京天文臺): 光波干涉利用による子午儀の軸の不整の測定(II) | 5 |
| 10. 植前繁美(緯度觀測所): 天頂儀による緯度觀測値の systematic error について (II) | 7 |
| 11. 須川 力(): 緯度觀測に及ぼす wind effect について | 8 |
| 12. 弓 滋(): 浮游天頂儀室内南北温度差について | 8 |
| 13. 弓 滋(): 尺度星對による天頂儀測微計値觀測結果の解析 | 10 |

【午後の部】

- | | |
|--|----|
| 14. 村山定男・澤村武雄・小松克次(科學博物館・高知大學): 高知隕石について | 5 |
| 15. 神田 茂(横濱國立大): 1950-52 年日本にて決定された流星の實經路について | 5 |
| 16. 小林義生(京大): 色消平像 K 型 シュミットカメラの設計 | 7 |
| 17. 中野三郎(東京天文臺): 月の位置と子午環觀測の精度 | 8 |
| 18. 後藤 進(緯度觀測所): 1953 年2月14日水澤における部分日食觀測結果 | 7 |
| 19. 長谷川一郎(田上天文臺): 1952 年の木星による掩蔽の觀測について | 7 |
| 20. 眞鍋良之助(東京天文臺): プレアデスの掩蔽より求めた月の視半径 | 5 |
| 21. 廣瀬秀雄(): 等緯掩蔽觀測點の豫報について | 7 |
| 22. 守永 晃・大脇直明(水路部): Dip について | 7 |
| 23. 青木信仰(東大): 相對正三角形平衡點附近の運動について | 7 |
| 24. 古在由秀(東京天文臺): 小惑星の永年運動について | 7 |
| 25. 宮原 宣(水路部): 三体問題の一つの場合 | 8 |
| 26. 宮原 宣(): Canonical Transformation について | 7 |
| 27. 關口直甫(東京天文臺): 地球の慣性主軸の運動について | 5 |
| 28. 宮地政司(): 地球自轉速度の季節變化について | 7 |
| 29. 黒沼榮一(山形大): メトリックの變化としての重力場の理論, 特に重力場のスカラー表示と
その理論を適用した一つの創造的宇宙モデルについて | 10 |
| 30. 成相秀一(東北大): 運動學的相對論における T-description について | 7 |
| 31. 荒木俊馬: 空間の創造について | 10 |
| 32. 鍋本政岐(東大): 球狀星團の距離の決定について | 7 |

【夜の部】

次二つのシンポジウムが平行に開かれます

子午線關係シンポジウム

精密時決定に関する諸問題

太陽スペクトルの研究綜合委員會シンポジウム

1. 高窪啓彌(東北大): 星間気体について
2. 上野季夫(京大): モデル大気の現状
3. 藤田良雄(東大): 長周期変光星のスペクトルの二三の問題

第2日 5月1日(金) 午前9時より

【午前の部】

33. 小野 實・田中幸明(東京天文台): 太陽の両極附近に現われる微小白斑について..... 5
34. 積田壽久・清水保夫(): 暗線の視線速度について..... 5
35. 上田 積・満尾淳男(生駒山太陽観測所): 太陽分光寫眞の整理..... 10
36. 宮澤正英・東 康一(東京天文台): 彩層爆發現象の重要度決定方法について..... 5
37. 北郷俊郎(東大): フラウンホーファー線における non-coherent 散乱の影響..... 5
38. 清水 實・秦 茂・大澤清顕(東京天文台): 太陽スペクトル光電自記装置についての豫備報告..... 5
39. 川口市郎(京大): 太陽彩層における水素輝線の輪廓について..... 7
40. 難波 收(大阪学芸大): 太陽彩層における中性酸素の観測について..... 7
41. 稻湯文男(東北大): 太陽吸性線の生じる深さと局温度..... 7
42. 一柳壽一・稻湯文男(): 吸収線の輪廓による太陽大気モデルの比較研究..... 7
43. 山本康郎・野島幸雄(東京天文台): 乗鞍コロナ観測時における太陽周囲の散光量に対する考察..... 5
44. 長澤進午・森下博三(): 諸外国コロナ測定光度の比較について..... 7
45. 清水一郎・西 恵三(): 乗鞍 5303 Å 輝線強度の太陽周囲からの距離に
對する減衰率について..... 7
46. 野附誠夫・中込陽光(): 乗鞍 5303 Å 輝線強度測定値について..... 7
47. 青木賢司・守山史生・鈴木重雅(): 3000 Mc における日食(1953 II-14)の観測について..... 7
48. 土屋 淳(): 磁場の下における ionized medium の Transient 解
及びその太陽電波への應用..... 7
49. 河越公昭(東大): フレアに作る宇宙線の太陽一般磁場内での運動について..... 7
50. 高倉達雄(大阪市大): アーク放電および太陽面發光より輻射されると思われるイオンプラズマ雑音..... 7

【日本天文学會總會】 5月1日(金) 午後0時30分より

【午後の部】

50. 神田 茂・原 恵・佐久間精一(日本天文研究會): 1952 年變光星の観測..... 5
51. 小野田昭(神戸海洋氣象臺): 星のシンチレーション(III)..... 5
52. 竹内端夫(東京天文台): 木星の衛星の食について..... 7
53. 秦 茂・大澤清顕(): 恒星測光用光電装置および周極標準星の観測について..... 5
54. 中村 強・古畑正秋(): アルゴル型變光星 RU Eri の要素..... 7
55. 北村正利・古畑正秋(): 近接食連星 Y. Y. Eri の光度曲線について..... 7
56. 田鍋清義・古畑正秋(): 近接食連星 TY Pup の變光について..... 7
57. 細川良正(山形大): 食連星における速度曲線の stationary disturbance について..... 7
58. 藤田良雄(東大): 極大光度近くにおける γ Oyg のスペクトルについて..... 7
59. 宮本正太郎(京大): 白鳥座 P 型星について..... 7
60. 上野季夫・齋藤澄三郎・壽岳 潤(): 高温度星のモデル大気について (I)..... 7
61. 宮本正太郎・長谷川敏男(): 特異星の流出大気について..... 7
62. 小尾信繁(東大): LS 結合と JJ 結合の變換について..... 5
63. 服部 昭(京大): 惑星状星雲の光學的深さについて..... 7
64. 矢田文太(): 二光子放出の惑星状星雲輻射場に及ぼす影響..... 7
65. 三枝利文(): 星状星雲の輻射場について..... 7
66. 海野和三郎(東大): Bowen lines の強度比について..... 5

懇 親 會 夕刻より

第3日 5月2日(土) 午後1時より

總 合 講 演 會

ケフェウス型變光星について
歐米天文臺視察談

一 柳 壽 一 氏
萩 原 雄 祐 氏